

事業名		移住推進事業			所管課		企画課		No	1-01	
施策区分											
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]				
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制				1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数				400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう										
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進				-						
	「働くまち」の元気を維持する										
	ものづくり産業の基盤強化				業種を問わずやる気のある企業を支援						
	「働くまち」の競争力を高める										
企業誘致等の推進				地場産品の販路拡大や創業支援							
事業内容											
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )					
事業概要	NPO法人「住んでみたい北海道推進会議」主催の「本気の移住相談会」に出展し、首都圏において、真剣に移住を検討されている方に対し個別相談を実施										
決算	予算	286	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]			
	決算	177	千円	内訳	千円	千円	千円	177	千円		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本気の移住相談会出展(H28.6.25)</li> <li>相談件数20件(その後のハローワークへの相談件数2件)</li> </ul>										
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
	UIJターン促進による新規就業者数( /2)				50人 [平成27~31年度]			0人 [平成27~28年度]			
	-				-			-			
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績				
	-				-	-	-				
-				-	-	-					
事業効果	<p>首都圏での移住相談会に出展し、相談者に直接PRすることで、移住者の掘り起こしが期待できる。</p> <p>また、移住者が転居先に求めることの情報収集を行うことができ、データ分析によりより効果的な定住施策を打ち出すことが可能となり、「UIJターン促進による新規就業者数」の目標値達成に寄与する。</p>										
評価											
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					事業年度における移住には結びつかなかったが、相談会出席者の反応からも今後の移住実績への可能性を期待できる。						
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					本気の移住相談会のほかにもフェイスブックの活用等情報発信の強化を図るとともに、東京事務所を活用し、他の移住相談会への出展やこれまでの相談者へのフォローアップも行っていく。						
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。						

事業名		UIJターン適職フェア事業		所管課	産業振興課		No	1-02		
施策区分										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援				
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	人口減少と少子高齢化が進む中、地域の基幹産業や中小企業においては技術伝承や成長分野を担う人材の確保が求められている。また、建設業や介護福祉業界をはじめ、地域の主要産業であるものづくり企業においても人手不足が深刻な状況であり、本市へのUIJターンを積極的に推進することで、企業等における人手不足の解消を目的に、都市部の学生、求職者、転職希望のある人々と室蘭市内の企業等とのマッチングを図る合同企業説明会を札幌で開催するものである。									
決算	予算	6,249千円		財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	6,221千円		内訳	2,500千円	千円	千円	3,721千円		
実施内容	7月16日に札幌芸文館にて、11時から16時に室蘭市の企業団体30、西胆振管内の企業団体18、併せて48の参加団体がブースを構え、新卒予定の大学生及び求職者との就職マッチングの場を提供した。 来場者は76名、実際に応募したのは22名、就職に繋がったのは5名となった。									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	UIJターン促進による新規就業者数( /2)				50人 [平成27~31年度]			8人 [平成27~28年度]		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	-				-	-	-			
-				-	-	-				
事業効果	地元ハローワークに求人を出しても、応募が無いという人手不足・売り手市場の状況にあって、都市部からの76名の来場者に企業PR・人材確保の機会を創出したことは一定の事業効果はあったと考える。しかし、成果という面では正式な受験者は22名いたが、人手不足とはいえ採用に妥協は無く就職者は5名にとどまった。									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					76名の参加で正式な受験者は22名、採用は5名という結果であった。参加者の母数は広域開催に改善し前年比29名増加させたが、やはり絶対数が足りなかったと言わざるを得ない。 大都市札幌もサービス業を中心に人手不足・売り手市場の中、地方の就職フェアが注目される可能性は低く、イベントは有効と言えなかった。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					札幌でのイベント開催が有効では無いため、地方から都市部への人口流出抑制というコンセプトに切り替え、地方と地方の連携による就職フェアの開催に見直し、トライアル事業として実施したい。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容は見直しを行うが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。					

事業名		大学連携推進事業		所管課	企画課	No	1-03
<b>施策区分</b>							
<b>1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出</b>				<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>	
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]		1,045人 [平成27~28年度]	
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]		約110人 [平成27~28年度]	
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう						
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進			-			
	「働くまち」の元気を維持する						
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援			
分類	「働くまち」の競争力を高める						
	企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援			
<b>プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり</b>				<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>	
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口			184,000人 [平成31年度]		187,741人 [平成28年度]	
	西胆振の連携を深め圏域の魅力高める						
分類	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進			西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進			
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する						
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開			-			
<b>事業内容</b>							
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(	室蘭工業大学)
事業概要	室蘭工業大学を始め道内大学・高専が連携し、卒業生の道内就職率向上を図るCOC+事業に参画し、カリキュラム改革や雇用創出・若者定着の取組に連携協力するとともに、室蘭市としても独自の取組を行い、本市への若者定着につなげる。						
決算	予算	151	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]
	決算	74	千円	内訳	千円	千円	千円
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭工業大学前期授業「地域社会概論」への協力(講師・フィールドワーク対応、4月・6月)</li> <li>・札幌にてCOC+ 会議出席</li> <li>・室蘭工業大学の清水教授主導のもと、理系学生応援プロジェクトを実施。(H29.3.4~5)札幌新川高校から男女20名を招き、ものづくり体験など実施にあわせて、市職員が室蘭をPR</li> <li>・室工大生等を対象とした「室蘭の魅力を感じる・知る・考えるバスツアー」(9/4)</li> </ul>						
	KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)			目標 [対象年度]		実績 [対象年度]
室蘭工業大学卒業生の道内就職者数 58%			58% [平成31年度]		42.8%[平成28年度]		
-			-		-		
実施計画における重要業績指標(KPI)			平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績		
事業効果	-			-		-	
	-			-		-	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・H28から1年生必修科目として新設した地域社会概論(地域課題・現状を探り解決方法をグループで提案)において、職員の講師派遣やフィールドワークでの意見交換を通じ、室蘭市の魅力PRとまちづくりへの参加を促進することで、就職先として地元を選択する若者の増加が期待できる。</li> <li>・道内高校生に対し、ものづくりに興味を持ってもらい、室工大進学者を増やすことで、道内就職率の向上が期待できる。</li> </ul>							
<b>評価</b>							
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]			
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				事業年度における道内就職率の増加には結びつかなかったが、道内出身者の工大進学増、在学中にまちに興味を持ってもらう取組を継続して実施することで、地元・道内就職を目指す学生増加が期待できる。			
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]			
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				継続した取組が重要であり、市業務への学生参加促進などまちに興味を持ってもらう取組を拡充するとともに、就職先として地元企業に目を向けてもらうための取組について検討する。			
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]			
見直しが必要 見直す必要はない				事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。			

事業名		職業理解促進事業		所管課	企画課		No	1-04		
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
	企業誘致等の推進						地場製品の販路拡大や創業支援			
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	人口減少が進む中、将来的な市内就職・定住につなげるために、まち全体で幼少時より室蘭市の基幹産業であるものづくり産業に触れる機会を提供し、まちへの愛着や誇りを醸成するための取り組み「てついく」を産学官民連携で行う。									
決算	予算	656	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	446	千円	内訳	446	千円	千円	千円		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教員向け工場視察会実施。(H28.8.3)小学校教員11名、中学校教員1名、教育委員会3名参加。</li> <li>・全教員に工場見学受入協力企業一覧を配布、小中学校の授業にて工場見学を実施。見学数【小学校】40件(前年度+11件)【中学校】20件(前年度+1件)</li> <li>・夏休み工場見学・ものづくり体験バスツアーの実施。(H28.7.28、7.29に実施)23組51名参加。</li> <li>・「てついく」の認知向上を図るため、ロゴマークを作成。</li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	-				-			-		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	新規就業者数( /4)				10人	40人	0人			
事業効果	-				-			-		
	<p>実際にものづくりの現場を体験することにより自分のまちに関心、愛着を持つようになり、将来就職する際に地元を選択する若者が増え、新卒者の地元就職促進につながる。</p> <p>また、企業からも地元採用を望む声があり、「てついく」を通じて将来地元採用が増えることで、ものづくり産業の基盤強化が期待できる。</p>									
<b>評価</b>										
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				幼少時より地域の産業への関心をはぐくみ、将来の市内就職、定住へつなげる事業であることから、事業年度における新規就業には結びつかないが、参加者からは体験を通じてものづくりに関心を持ったとの声が多く挙げられたことから、今後学校教育に「てついく」を盛り込むことで、若者の地元就職の増加が期待できる。						
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				「てついく」を広く周知するため、見学受け入れ工場にて「てついく」ロゴマークの掲示等による周知活動、また幼少時の体験学習がまちへの愛着を育むことに効果的であることから、今後は特に学校での「てついく」に重点的に取り組み、幅広く周知していく。						
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない				事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。						

事業名		女性のための復職・起業支援事業		所管課	産業振興課		No	1-05		
施策区分										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
	企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援			
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	<p>出産・子育て等で一旦仕事を離れた女性を対象に、参加しやすい短時間・短期間の講座を開催。復職に必要とされる総合的な知識の習得や、各企業・どの職種でも必須となる基礎的なPCの操作、また、起業に関する講座を開催し、復職の幅を広げて自分らしい働き方を見つけてもらい、復職への支援やきっかけづくりを目的として行う事業である。</p>									
決算	予算	1,460	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	1,458	千円	内訳	千円	千円	千円	1,458 千円		
実施内容	<p>10月4日から26日までに定員15名(実際は20名の受け入れ)で午前10時から正午までの一日2時間実施。以下5種類のセミナーからなる。                  PC(エクセル)講座:3日間                  PC(ワード)講座:3日間                  PC(パワーポイント)講座:3日間                  就職支援基礎講座:2日間                  起業経験者の講話:1回</p>									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	室蘭での営業・採業が経営課題となっていると回答する企業の割合( /7)				32% [平成31年度]			アンケート未実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	新規就業者数( /4)				10人	40人	3人			
事業効果	-				-			-		
	<p>参加希望が多く、昨年の14名に対し20名と定員の15名をオーバーして受け入れた。託児を導入し9名が利用した。参加者の88%が非常に満足と答えており、子育てをしながら復職に向けスキルアップを図る女性のためには一定の効果があつたものと思われるが、就職実績は2名、起業1名と低調である。</p>									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					自身のPCスキルアップなど、参加による満足感が高いが、就職実績が低調であり、有効とは言えない。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					実績が低調で事業効果が見込みにくいため終了する。今後は、他機関で実施される創業セミナーなどとの連携・協力を検討する。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					事業としては終了するが、総合戦略における目的・方向性を見直しを伴うものではないため。					

事業名		ものづくり・建設業人材確保育成事業		所管課	産業振興課		No	1-06		
施策区分										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援				
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	<p>人口減少と少子高齢化が進む中、地域の主要産業であるものづくり企業において人手不足が深刻な状況にあり、また女性活躍推進の観点から、女性の雇用拡大が必要となっている。そのため、女性が働きやすい職場づくりを目的とした職場環境の整備(女性専用トイレ、更衣室、託児室の新設・改修等)を行う製造業または建設業を営む中小企業者に対し、整備費用の一部を助成するもの。</p> <p>また、若者の早期離職についても、人材不足・人材育成が進まない大きな要因となっていることから、企業と求職者間のミスマッチを未然に防ぐため、企業で働く人のワークライフを新たにWEBページに掲載・情報発信を行う企業に対し、作成費用の一部を助成等を行う。</p>									
決算	予算	6,695	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	4,743	千円	内訳	千円	千円	千円	4,743 千円		
実施内容	<p>女性向け職場改善整備補助事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職場における女子トイレや託児スペースなどの改修費用等を助成</li> <li>・補助率1/2(上限2,000千円)</li> </ul> <p>ワークライフWEBページ作成支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事や職場の魅力を発信するwebページの作成経費を助成</li> <li>・補助率1/2(上限100千円)</li> </ul> <p>北海道主催の製造・建設職場魅力発信フォーラムについて連携・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道が主催する製造現場・建設現場に働く若者や女性の生の声を伝えるフォーラムの連携実施</li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	室蘭での営業・採業が経営課題となっていると回答する企業の割合( /7)				32% [平成31年度]			アンケート未実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	新規就業者数( /4)				10人	40人	12人			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・女性向け職場改善整備補助事業 実績件数 6件、女性の新規採用者数 12名</li> <li>・ワークライフWEBページ作成支援事業 実績件数 2件</li> <li>・北海道主催で連携して開催した「じもと×しごと発見フェア」については、西胆振管内の高校1,2年生に対し、製造・建設業の魅力について大いにPRすることができた。</li> </ul>									
	-									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					補助事業を活用した企業において、女性採用の実績につながっており、現在勤務している女性従業員の就労環境の改善・向上にもつながったと、企業から多く声が寄せられたことから、女性でも働きやすい職場づくりに対する意識醸成につながったと考える。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					製造業・建設業界における女性の就業促進、女性でも働きやすい職場改善の意識醸成が図られるよう、事業を継続する。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。					

事業名		ものづくり企業改善・革新支援事業		所管課	産業振興課		No	1-07	
施策区分									
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]		
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]		
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう								
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-		
	「働くまち」の元気を維持する								
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援		
分類	「働くまち」の競争力を高める								
	企業誘致等の推進						地場製品の販路拡大や創業支援		
プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口			184,000人 [平成31年度]			187,741人 [平成28年度]		
分類	西胆振の連携を深め圏域の魅力高める								
	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進						西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進		
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する								
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開						-		
事業内容									
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(公益財団法人室蘭テクノセンター)			
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造現場の改善による成長力強化を目的として、ものづくり企業等へインストラクターを派遣し、現場改善による生産性の向上と競争力の強化に取り組む(登別市連携)</li> <li>製造業を中心とした地域企業が求める「イノベーション人材」の育成に資することを目的とした「胆振次世代革新塾」の運営支援を実施(「ものづくり企業活性化チーム 学・官・金 室蘭」による実施)</li> </ul>								
決算	予算	3,895	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]	
	決算	3,894	千円	内訳	3,894				千円
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造現場改善支援のため、(一社)ものづくり改善ネットワークの協力によりインストラクターを派遣 市内企業2社</li> <li>胆振次世代革新塾の運営支援を実施。法政大学の協力のもと、「管理者や実務担当者『自ら』優れた経営感覚を身につける-「強い組織に変える力」」をテーマとし、平成28年7月~11月の期間中に計8回の講座開催。</li> </ul>								
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)			目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	市の支援策により人材育成に取り組んだ企業の件数			30件 [平成27~31年度]			23件 [平成27~28年度]		
	室蘭での営業・操業が経営課題となっていると回答する企業の割合( / )			32% [平成31年度]			アンケート未実施		
	新規広域連携事業等の件数( / )			4件 [平成27~31年度]			1件 [平成27~28年度]		
	実施計画における重要業績指標(KPI)			平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	受講者数			20人			40人		
	現場改善に取り組んだ事業者数			2社			8社		
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>製造現場改善支援については、着実に実施事業者の実績を確保しており、外部人材の目線による現場の見直し、従業員のモチベーション向上、生産性向上等、地域企業の競争力強化につながる取組となっている。</li> <li>胆振次世代革新塾についても、外部人材の講義・ワークショップ等による新たな視点での自己・自社の見つけ直しを通して、地域企業の人材育成が図られている。</li> </ul>								
評価									
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]				
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					実施企業・受講生等からの評価は高く、外部人材を有効に活用した現場改善・人材育成が着実に図られており、KPI達成に寄与する事業である。				
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]				
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					<ul style="list-style-type: none"> <li>製造現場改善支援は、着実に実施企業を増加させる一方で、改善手法等の基本講座を開催して地域企業への周知浸透を図るほか、地域内企業の改善活動を定着に向けたニーズ把握や方策等の検討を要する。</li> <li>胆振次世代革新塾は、引き続き法政大学の協力を得ながらも、企業が求める人材育成テーマや実施運営体制について発展的な見直しを加えて実施。</li> </ul>				
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]				
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の小規模な見直しは実施するが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。				

事業名		企業社宅整備等支援事業			所管課		産業振興課		No		1-08	
施策区分												
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出					目標 [対象年度]			実績 [対象年度]				
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制				1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]				
目標	市の施策により創出する新規雇用者数				400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]				
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう											
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進											
	「働くまち」の元気を維持する											
	ものづくり産業の基盤強化				業種を問わずやる気のある企業を支援							
	「働くまち」の競争力を高める											
企業誘致等の推進				地場産品の販路拡大や創業支援								
事業内容												
区分	新規		継続		見直し		事業主体		室蘭市		その他( )	
事業概要	企業の従業員向け住宅の整備費に対する助成制度を創設し、市内への定住促進と雇用の確保を図る。											
決算	予算		千円		財源		[国・道]		[地方債]		[その他]	
	決算		千円		内訳		千円		千円		千円	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>補助要件：市内に立地する企業が自ら運営し、単独または共同で自社の社員等の居住用に建設又は購入する集合住宅雇用要件として、新たな常用従業員2名(新設の場合は5名)以上の増員が必要</li> <li>補助金額：集合住宅の固定資産評価額の10/100</li> <li>環境配慮型住宅に対する上乘せ制度あり</li> </ul>											
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]				
	室蘭での営業・操業が経営課題となっていると回答する企業の割合( /7)				32% [平成31年度]			アンケート未実施				
	-				-			-				
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値		平成31年度目標値		平成28年度実績			
	新規就業者数( /4)				10人		40人		0人			
事業効果	平成28年4月に上記制度を盛り込んだ改正産業振興条例を施行済み											
	平成28年度に市内企業において社宅建設実績があり、要件を満たせば平成29年度指定申請、平成30年度補助申請となる見込み											
評価												
[事業の評価]						[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった						制度創設により、市内企業の人材確保・雇用環境の向上に資する。						
総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった												
[今後の方針]						[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる						条例改正により対応したことにより、常設の制度として継続。						
事業内容の見直し(改善)を行う												
特に見直しをせず、事業を継続する												
継続的な事業実施を予定していたが中止する												
当初予定どおり事業を終了する												
[総合戦略見直しの必要性]						[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要						定住対策として必要な事業であり、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。						
見直し必要はない												



事業名		水素関連産業プラットフォーム構築事業		所管課	産業振興課			No	1-09	
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援				
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(公益財団法人室蘭テクノセンター)				
事業概要	室蘭テクノセンターを中心に製造業等の企業連合を組織し、先進企業の視察等により水素産業関連部品供給の拠点化を促進									
決算	予算	3,127	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	2,016	千円	内訳	2,016	千円	千円	千円	千円	
実施内容	地域の関係機関との協議を通じた合意形成、先行企業と地域中小企業との連携及び先進技術に関する情報収集の活動に加え、耐水素脆性金属材料による水素ステーションのディスペンサー用フレキシブルホースの開発を推進し、国の補助事業に採択された。									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	室蘭での営業・操業が経営課題となっていると回答する企業の割合( / )				32% [平成31年度]			アンケート未実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	新産業(水素関連)参入企業数				2社	6社	2社			
事業効果	・本事業による調査及び企業マッチングを起点とし、室蘭テクノセンターを管理機関として室蘭工業大学の技術シーズを活用した産学連携による水素ステーション用部品開発事業に着手したほか、関連する加工技術の高度化に向けて市内企業が取組を開始。									
	・本事業による先行企業と地域中小企業のマッチング及び先進技術情報収集等の活動により、新たな事業展開の可能性を目指した案件探索が進んでおり、地域企業のビジネス創出に寄与する取組となっている。									
<b>評価</b>										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					国や市の補助事業を活用して市内企業等が技術開発を開始。更なる地域企業のビジネス創出に向けた情報収集・マッチング等を実施しており、KPI達成に向けて有効な事業である。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					平成28年度の情報収集等により先行企業と地域企業の連携の芽が育ちつつあるほか、新たな事業展開の可能性を秘めた案件探索が進んでいることから、継続実施により確度を高めていくことを狙う。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。					

事業名		省エネ住宅普及推進モデル事業		所管課	都市政策課		No	1-10		
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援				
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	省エネモデル住宅を購入する市内居住者に対し、エネファーム導入費用の一部を助成し、住宅における再生可能エネルギーの利用を推進 ・対象住宅：エネファームのほか、太陽光発電施設やLED照明(住宅内の一定割合以上)等のいずれかを整備する住宅 ・補助件数：10戸 ・補助金額：定額15万円									
決算	予算	1,500 千円		財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	750 千円		内訳	千円	千円	千円	750 千円		
実施内容	H28年度中に申請のあった5件(すべて武揚の杜のエネファーム街区)に対して、補助金を交付した。									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	室蘭での営業・採業が経営課題となっていると回答する企業の割合( / )				32% [平成31年度]			アンケート未実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	-				-	-	-			
事業効果	武揚の杜のエネファーム街区10宅地のうち、半数の5宅地が成約・補助活用となり、省エネ住宅普及・水素利用社会構築の一助として効果があったと考える。									
<b>評価</b>										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					現時点では、武揚の杜のエネファーム街区のみであるが、省エネ住宅普及・水素利用社会構築の一助となっているものとする					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					必要書類等が多く申請が煩雑だったため、要綱を改正し申請者の負担を軽減する。また、事業内容等については国の制度の動向や実績件数等を踏まえ、引き続き精査・検討を行う。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の小規模な見直しは実施するが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。					

事業名		企業誘致対象企業発掘事業		所管課	産業振興課		No	1-11		
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援						
	「働くまち」の競争力を高める									
	企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援						
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>企業データ購入による誘致対象企業発掘</li> <li>北海道主催フォーラム参加による北海道・室蘭市の立地環境等PR</li> <li>日本最大級の異業種交流展示会出展による室蘭市の立地環境等PRと誘致対象企業の獲得</li> </ul>									
決算	予算	3,920	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	2,988	千円	内訳	2,505	千円	千円	483 千円		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>帝国データバンクが提供する北海道に進出を計画している企業データの購入(北海道への移転検討企業数127社)</li> <li>道外で活躍する北海道出身の企業人などを対象としたフォーラムに参加し、室蘭をPR(北海道主催 計2回開催 H28.8東京都、H28.10名古屋)</li> <li>日本最大級の異業種交流展示会(メッセナゴヤ2016)における室蘭市のPRと誘致対象企業の獲得(室蘭市ブースの出展)</li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	産業振興条例に基づく助成申請件数				10件 [平成27~31年度]			7件 [平成27~28年度]		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	新規誘致対象企業数				10件	40件	9件			
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>フォーラム、メッセナゴヤについては、北海道ブースの一角に出展することにより、単独出展と比較して対外的発信力は高い効果があったと考える。両イベントを通じ、ブースへの来客の中から、首都圏IT企業や静岡県・素形材企業等への接点をもつことができ、今後も継続的な接触を図っていく予定。その他例年実施の設備投資調査の回答を基にした訪問件数を加え、新規発掘企業数は9件となった。</li> <li>企業情報のデータ購入は、企業情報から具体的に北海道進出意向があるとされた企業を絞り込んだうえでアンケートを実施したが、回答は芳しくなく、結果5社へのPR資料送付にとどまった。</li> </ul>									
<b>評価</b>										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					企業データ購入は、容易に新規案件の発掘には至らないことがわかり有効ではなかったが、フォーラム等への参加による企業発掘は一定の効果があったものとする。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					個別の事業効果を踏まえて平成29年度はデータ購入は実施せず、例年実施の調査による企業情報把握を行うほか、北海道及び道内自治体・企業と合同で立地環境等をPRできるイベント出展については、継続して実施する予定。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の小規模な見直しは実施するが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。					

事業名		市内創業支援等事業		所管課	産業振興課		No	1-12		
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]			
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]			
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進						-			
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化						業種を問わずやる気のある企業を支援			
	「働くまち」の競争力を高める									
企業誘致等の推進						地場産品の販路拡大や創業支援				
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )				
事業概要	市内の創業に対する補助金及び創業後のフォローアップセミナー 市内創業セミナー ・小売業等の創業または創業後のフォローアップに係るセミナーの開催 市内創業支援補助金 ・補助率：家賃相当費用の1/2(上限50千円、最長12か月) ・上記助成対象のうち、追加で空き店舗改修費の1/2(上限1,500千円)を助成 対象要件：市ホームページ掲載の空き店舗を活用し営業ほか									
決算	予算	10,695	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	5,444	千円	内訳	千円	千円	千円	5,444	千円	
実施内容	市内創業セミナー ・商工会議所主催のセミナーに連携 市内創業支援補助金 ・家賃補助実績：6件、944千円(当該年度分) ・空き店舗出店助成：3件、4,500千円									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	金融機関と連携した支援策による新規創業件数				70件 [平成27~31年度]			37件 [平成27~28年度]		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	-				-	-	-			
事業効果	従前の商店街に限定した施策のみならず、ほぼ業種に縛られない開業支援を受けられる家賃補助が加わり、独立開業、新分野への進出、事業継承等、多岐に渡る活用があった。補助額の平均額は月額33千円、本市の家賃が概ね高めであることを考慮すると、補助制度があることによる市内創業への後押し効果は少なくないとみる。また、家賃補助6件のうち、2件は空き店舗出店助成も活用しており、商店街への進出に一定の誘導効果があるとみている。									
<b>評価</b>										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					家賃補助は当初の想定の5件を上回り、費用対効果の高い創業支援事業とみており、今後もさらなる事業発展が期待できる。また空き店舗出店助成は相乗効果もあり、前年実績は上回っている。(13件)					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					H29年度より「むろらん商店街づくりサポートセンター」に業務を移管し、利用促進を図る。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。					

事業名		東京オリンピック・パラリンピックを活用した地域活性化推進首長連合事業			所管課	総務課		No	1-13			
<b>施策区分</b>												
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]				
数値	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]				1,045人 [平成27~28年度]				
目標	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]				約110人 [平成27~28年度]				
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう											
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進			-								
	「働くまち」の元気を維持する											
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援								
	「働くまち」の競争力を高める											
企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援									
<b>事業内容</b>												
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(東京オリンピック・パラリンピック首長連合)						
事業概要	2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の機会を契機とし、地域が広域的に連携を図り、その特色を活かした様々な取り組みを進めることで、世界に向けた地域の魅力及び総合力の発信することにより、地域の活性化をより確実なものとするため、新潟県産業市の呼びかけにより首長連合が発足。本市も参加。											
決算	予算	6,200	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]				
	決算	6,200	千円	内訳	6,200	千円	千円	千円	千円			
実施内容	東京都港区の新虎通りにおいて、歩道内150mに展示・物販ブースにコンテナ等を設けて、地域資源をショールーム化して紹介。 情報発信のノウハウ・アイデアを持つ大手デベロッパーを中心とした民間事業者が、自治体の地域資源にテーマ性を持たせて魅力的な情報を発信する。 平成28年9月のプレイベントを経て、平成29年2月24日から事業スタート。2020年東京オリンピック・パラリンピックまで開催する予定。											
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]			
	商談会参加など、販路拡大に新規に取り組む企業等の件数( /4)				10件 [平成27~31年度]				0件 [平成27~28年度]			
	-				-				-			
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成32年度目標値	平成28年度実績					
	新虎通りの事業への来場者数				250万人		-		調査中			
観光客入込客数				-		140万人		128万人				
事業効果	新虎通り活用事業はスタートしたばかりであり、今後の注目度アップに期待しているが、東京オリンピック・パラリンピック首長連合の加入自治体は445(H28年9月)と増加している。											
<b>評価</b>												
[事業の評価]						[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった						新虎通り活用事業のスタートが約2か月遅れたが、首長連合参加自治体全体のPRとなり、KPI達成に有効である。						
[今後の方針]						[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する						引き続き、首長連合に参加し、地域PRを図る。						
[総合戦略見直しの必要性]						[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない						確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。						

事業名		西いぶりクラウドファンディング販路拡大事業		所管課	産業振興課		No	1-14		
<b>施策区分</b>										
1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出				目標 [対象年度]		実績 [対象年度]				
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]		1,045人 [平成27~28年度]				
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]		約110人 [平成27~28年度]				
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進			-						
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援						
分類	「働くまち」の競争力を高める									
	企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援						
プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり				目標 [対象年度]		実績 [対象年度]				
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口			184,000人 [平成31年度]		187,741人 [平成28年度]				
分類	西胆振の連携を深め圏域の魅力高める									
	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進			西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進						
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する									
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開			-						
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(西いぶりクラウドファンディング推進運営協議会)				
事業概要	近年、販路拡大及び資金調達の手法として注目が集まるクラウドファンディングについて、西胆振圏域の事業者に対し活用を促進する。 ・西胆振圏域の事業者等を対象とした研修会の開催 ・クラウドファンディング組成経費の1/2を補助									
決算	予算	1,352	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	581	千円	内訳	581	千円	千円	千円	千円	
実施内容	室蘭、伊達会場でのクラウドファンディング販路拡大事業の説明会及び協議会委員による関係団体への情報発信を実施後、計3回の事業者募集を行い、3件の事業を採択。最終的にファンド募集開始までに至ったのは1件									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)			目標 [対象年度]		実績 [対象年度]				
	商談会参加など、販路拡大に新規に取り組む企業等の件数( /4)			10件 [平成27~31年度]		0件 [平成27~28年度]				
	新規広域連携事業等の件数( /5)			4件 [平成27~31年度]		1件 [平成27~28年度]				
	実施計画における重要業績指標(KPI)			平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績				
	ファンド組成件数			6件(6市町)		24件(6市町)		1件		
	支援を受けた全事業者のファンド満額達成			-		100%		100%		
	支援を受けた全事業者のファンド運用開始			-		100%		100%		
事業効果	クラウドファンディング組成件数は1件であったが、説明会には11事業者が参加しており、今後の活用が期待できる。									
<b>評価</b>										
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				組成件数が1件と単年度実績としては思わしくなかったが、説明会参加など興味を持つ事業者もあり、今後の活用が期待できる。						
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				他自治体での類似事業と比較した場合、初期費用の1/2補助では事業者にとっての負担感は重いと検証している。(他では事業者負担100~200千円程度が多い。)負担額の割合を見直し活用促進を図る。						
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない				事業内容の小規模な見直しは行うが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。						

事業名	国内外販路開拓支援等事業			所管課	農水産課			No	1-15		
<b>施策区分</b>											
<b>1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出</b>				<b>目標 [対象年度]</b>			<b>実績 [対象年度]</b>				
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]			1,045人 [平成27~28年度]				
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]			約110人 [平成27~28年度]				
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう										
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進										
	「働くまち」の元気を維持する										
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援							
	「働くまち」の競争力を高める										
	企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援							
<b>プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり</b>				<b>目標 [対象年度]</b>			<b>実績 [対象年度]</b>				
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口			184,000人 [平成31年度]			187,741人 [平成28年度]				
分類	西胆振の連携を深め圏域の魅力を高める										
	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進			西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進							
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する										
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開										
<b>事業内容</b>											
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )					
事業概要	本市の水産業振興策として、室蘭産水産物を国内外にPRし広く販路拡大を目指すことを目的に事業者の各種商談会出店を支援 室蘭漁協が課題とする国内外への販路開拓への対応として、室蘭産水産物のフラッグシップとして位置付ける「活ホタテ3年貝蘭扇」を国内で実施の国際商談会に持ち込んで販促活動を実施した。										
決算	予算	474	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]			
決算	決算	205	千円	内訳	60	千円	千円	千円	145	千円	
実施内容	FOOD HOKKAIDO 2016 ~北海道 食の輸出大商談会(H28.9.29~30、札幌)12社と商談 「水産物生産・加工事業者と国内商社等との輸出商談会」(H28.10.18、函館)5社と商談 沖縄大交易会(H28.11.21~22、沖縄県宜野湾市)8社と商談、他フリータイムでの試食PR										
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]						
	商談会参加など、販路拡大に新規に取り組む企業等の件数( /4)				10件 [平成27~31年度]			3件 [平成27~28年度]			
	新規広域連携事業等の件数( /5)				4件 [平成27~31年度]			1件 [平成27~28年度]			
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値		平成31年度目標値		平成28年度実績		
	国内外販路開拓による商談成約数( /2)				2件		8件		0件		
事業効果	「活ホタテ3年貝蘭扇」を試食してもらい、概ね好評価を得、サンプル品輸出の予定であったが、台風被害を起因とした成長不良とへい死の影響で「蘭扇」の販売を全面的にせざるを得ず、成約までには至らなかった。										
<b>評価</b>											
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]							
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				商談会では「蘭扇」が概ね好評価を受けており、順調な出荷が行われた場合には、複数の成約が見込まれていたことから、事業自体については有効であったと考える。							
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]							
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				室蘭漁協では、「蘭扇」の生育状況など見ながら、当面の間、接点をもった商談先へのフォローアップ、取引拡大を図ることとしており、本事業は中止。							
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]							
見直しが必要 見直す必要はない				事業としては中止するが、総合戦略における目的・方向性を見直しを伴うものではないため。							

事業名		国内外販路開拓支援等事業		所管課	産業振興課		No	1-15		
<b>施策区分</b>										
<b>1 まちの特性を活かした産業振興と魅力ある雇用の創出</b>				<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>				
数値目標	生産年齢人口(15~64歳)の社会減を5年間で200人程度抑制			1,750人 [平成27~31年度]		1,045人 [平成27~28年度]				
	市の施策により創出する新規雇用者数			400人 [平成27~31年度]		約110人 [平成27~28年度]				
分類	「働くまち」として室蘭を選んでもらう									
	新卒者の地元就職促進とUIJターンの推進			-						
	「働くまち」の元気を維持する									
	ものづくり産業の基盤強化			業種を問わずやる気のある企業を支援						
分類	「働くまち」の競争力を高める									
	企業誘致等の推進			地場産品の販路拡大や創業支援						
<b>プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり</b>				<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>				
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口			184,000人 [平成31年度]		187,741人 [平成28年度]				
	西胆振の連携を深め圏域の魅力高める									
分類	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進			西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進						
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する									
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開			-						
<b>事業内容</b>										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他(公益財団法人室蘭テクノセンター)				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>食のインフォメーションバザール in Tokyo 2016への参加支援</li> <li>新価値創造展(中小企業総合展)への参加支援</li> <li>ビジネスエキスポ(展示会、商談会、セミナー等)への参加支援</li> </ul>									
決算	予算	4160	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	3329	千円	内訳	3129	千円	千円	千円	200	千円
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>食のインフォメーションバザール in Tokyo 2016への参加支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>市内企業5社の出展ブース代を助成 本市も同行してブースを1箇所設置</li> </ul> </li> <li>新価値創造展(中小企業総合展)への参加支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>テクノセンターが出展支援する東京で開催される新価値創造展に関し、市内企業7社の出展経費と旅費を助成</li> </ul> </li> <li>ビジネスエキスポ(展示会、商談会、セミナー等)への参加支援                             <ul style="list-style-type: none"> <li>室蘭テクノセンターが出展する経費に対し、室蘭企業分4社分を負担</li> </ul> </li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]		実績 [対象年度]			
	商談会参加など、販路拡大に新規に取り組む企業等の件数( /4)				10件 [平成27~31年度]		10件 [平成27~28年度]			
	新規広域連携事業等の件数( /5)				4件 [平成27~31年度]		1件 [平成27~28年度]			
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	国内外販路開拓による商談成約数( /2)				2件		8件		9件	
事業効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成28年度新規のインフォメーションバザール(北洋銀行主催)出展支援においては、市内食品加工・製造事業者の商談成約が目標値を大きく上回る結果となったほか、現状成約に至っていないが商談が進んでいる案件も報告されており、KPI達成に大きく寄与した。</li> <li>新価値創造展、ビジネスEXPOへの参加支援についても、商談成約が報告され、一定の効果があった。</li> </ul>									
<b>評価</b>										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					新たな展示会への参加機会の提供により、企業の販路拡大につながる効果がうまれ、KPI達成に十分寄与したものと考えます。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					企業の販路拡大については、自社の営業力によるところが原則であり、今回で企業の意識向上・後押しについて、十分成果があったものと考え、行政の支援策としては、個別の展示会への出展支援は縮小する。(出展企業への旅費支援を廃止)					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の小規模な見直しは行うが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。					



事業名		子育て応援企業等登録事業		所管課		子育て支援室		No		2-01																								
施策区分																																		
2 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]																										
数値目標	子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合			35% [平成31年度]				アンケート未実施																										
分類	「子育てにやさしいまち」を推進する																																	
	「子育て応援プラン」の推進																																	
	子育て世代の「室蘭に住みたい」思いにこたえる																																	
	子育て世代にやさしい定住環境整備																																	
事業内容																																		
区分	新規		継続		見直し		事業主体		室蘭市		その他( )																							
事業概要	子育て支援の事業を行う企業や団体を「子育て応援団」として登録し、地域全体で子育てを応援する意識の醸成を図る																																	
	登録団体に 助成金(上限10,000円。1団体に1回のみ)を支給 市で作成した認定証・登録ステッカーを支給 市で作成したのぼり旗を貸出し  登録要件 市内で子育てを応援する取組を継続実施する、市民・市民団体・地域団体・市内または道内に事業所を持つ事業者や企業等																																	
決算	予算	706	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]	568	千円	千円	千円																						
	決算	568	千円	内訳	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円																						
実施内容	【登録団体の活動内容】登録事業の実施内容は上記概要の～で明記。 企業関係...地域貢献の一環として、子どもの体験事業や子ども関係の施設整備、環境美化などのボランティア活動実施や従業員の子育てしやすい環境の整備(休暇制度など) 商業関係...どさんこ・子育て特典制度に協賛しているところが多く、子育て世帯の経済的負担軽減や子どもへのプレゼントなどの直接サービスの提供 市民・地域・子育て団体...自分たちの活動を通して、子育ての支援(体験事業、交流事業、ふれあい事業など) 個人...絵本の読み聞かせ、子どもの見守り、環境教育、ベビーラップ講座開催、カラー診断 サービス業やその他の業種...こどもを守る家登録で子どもの見守りや、親子体験講座などの開催																																	
	総合戦略における重要業績指標(KPI) <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標 [対象年度]</th> <th colspan="2">実績 [対象年度]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">子育て応援団の登録件数</td> <td colspan="2">290件 [平成27～31年度]</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-</td> <td colspan="2">-</td> </tr> <tr> <th colspan="2">実施計画における重要業績指標(KPI)</th> <th>平成28年度目標値</th> <th>平成31年度目標値</th> </tr> <tr> <td colspan="2">-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2">-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>											目標 [対象年度]		実績 [対象年度]		子育て応援団の登録件数		290件 [平成27～31年度]		-		-		実施計画における重要業績指標(KPI)		平成28年度目標値	平成31年度目標値	-		-	-	-		-
目標 [対象年度]		実績 [対象年度]																																
子育て応援団の登録件数		290件 [平成27～31年度]																																
-		-																																
実施計画における重要業績指標(KPI)		平成28年度目標値	平成31年度目標値																															
-		-	-																															
-		-	-																															
事業効果	・平成28年度登録件数 62件(累計178件) ・登録団体が中心となり、子育て応援イベントを実施...子育て応援EXPO ・子育て支援をしている人たちが新たに団体を発足...SAMAYOKA、ととけっこう ・子育て応援活動の場を拡大...ブックスタート活動団体「ととけっこう」のサンキッズでのイベント実施 ・応援団同士のつながり...ハウスメーカーと市民団体、民和会とワニワニクラブ、EXPO実行委とイロドリマルシェ																																	
	評価 <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>[事業の評価]</th> <th>[事業の評価に対する意見・理由]</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>                     総合戦略のKPI達成に有効であった                      総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった                 </td> <td>                     登録件数は順調に伸びており、また登録団体が未登録団体へ加入を促進する横のつながりも生まれ、まち全体の子育て応援につながっている。                 </td> </tr> <tr> <th>[今後の方針]</th> <th>[今後の方針に対する理由]</th> </tr> <tr> <td>                     事業が効果的なため、更に発展させる                      事業内容の見直し(改善)を行う                      特に見直しをせず、事業を継続する                      継続的な事業実施を予定していたが中止する                      当初予定どおり事業を終了する                 </td> <td>                     ・制度の周知や登録団体のPRをしながら、市民が自主的に登録してくれるような環境を整備                      ・登録団体から、ほかの団体の取り組みを知りたいとの声もあり、応援団同士のネットワークづくりや情報交換を強化                 </td> </tr> <tr> <th>[総合戦略見直しの必要性]</th> <th>[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]</th> </tr> <tr> <td>                     見直しが必要                      見直す必要はない                 </td> <td>                     事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。                 </td> </tr> </tbody> </table>											[事業の評価]	[事業の評価に対する意見・理由]	総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	登録件数は順調に伸びており、また登録団体が未登録団体へ加入を促進する横のつながりも生まれ、まち全体の子育て応援につながっている。	[今後の方針]	[今後の方針に対する理由]	事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する	・制度の周知や登録団体のPRをしながら、市民が自主的に登録してくれるような環境を整備 ・登録団体から、ほかの団体の取り組みを知りたいとの声もあり、応援団同士のネットワークづくりや情報交換を強化	[総合戦略見直しの必要性]	[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]	見直しが必要 見直す必要はない	事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。											
[事業の評価]	[事業の評価に対する意見・理由]																																	
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった	登録件数は順調に伸びており、また登録団体が未登録団体へ加入を促進する横のつながりも生まれ、まち全体の子育て応援につながっている。																																	
[今後の方針]	[今後の方針に対する理由]																																	
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する	・制度の周知や登録団体のPRをしながら、市民が自主的に登録してくれるような環境を整備 ・登録団体から、ほかの団体の取り組みを知りたいとの声もあり、応援団同士のネットワークづくりや情報交換を強化																																	
[総合戦略見直しの必要性]	[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]																																	
見直しが必要 見直す必要はない	事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。																																	

事業名		第3子以降の保育料無料化事業			所管課		子育て支援室		No		2-02			
施策区分														
2 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり					目標 [対象年度]				実績 [対象年度]					
数値目標	子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合				35% [平成31年度]				アンケート未実施					
分類	「子育てにやさしいまち」を推進する													
	「子育て応援プラン」の推進													
	子育て世代の「室蘭に住みたい」思いにこたえる													
	子育て世代にやさしい定住環境整備													
事業内容														
区分	新規		継続		見直し		事業主体		室蘭市		その他( )			
事業概要	幼稚園・保育所に通う、第3子以降の保育料を軽減													
	対象者：18歳までの(18歳到達後の最初の3月31日まで)子どもを3人以上養育しており、かつ市民税所得割額が301,000円未満の世帯													
決算	予算		25,592 千円		財源内訳		[国・道]		[地方債]		[その他]		[一般財源]	
決算	44,511 千円						千円		千円		千円		44,511 千円	
実施内容	18歳までの(18歳到達後の最初の3月31日まで)子どもを3人以上養育しており、かつ市民税所得割額が301,000円未満の世帯について、幼稚園・保育所に通っている第3子以降の保育料の無料化													
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・私立幼稚園就園奨励費補助金：6,736,600円(対象者：66人)</li> <li>・保育所保育料の軽減：歳入減 37,774,480円(対象者：133人、延1,368人)</li> </ul>													
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)					目標 [対象年度]				実績 [対象年度]				
	-					-				-				
	実施計画における重要業績指標(KPI)					平成28年度目標値		平成31年度目標値		平成28年度実績				
	-					-		-		-				
事業効果	国の制度だけでは不足する部分を市単独補助として上乗せすることで、子どもを3人以上養育している世帯に対する経済的負担の軽減が図られた。													
評価														
[事業の評価]						[事業の評価に対する意見・理由]								
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった						子育て世代が住みたい、住み続けたいと思えるまちづくりの一助となっている。								
[今後の方針]						[今後の方針に対する理由]								
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する						未就学児を抱える子育て世帯の多くは、親の年齢も若く収入も少ないため、特に多子世帯においては、子どもの人数に応じた経済的負担が増大することから、国の制度だけでは不足する部分を市単独補助として上乗せし、上乗せ分は現行のまま継続する。								
[総合戦略見直しの必要性]						[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]								
見直しが必要 見直す必要はない						確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。								

事業名		特定不妊治療費助成		所管課	健康推進課		No	2-03		
施策区分										
2 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値目標	子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合			35% [平成31年度]			アンケート未実施			
分類	「子育てにやさしいまち」を推進する									
	「子育て応援プラン」の推進									
	子育て世代の「室蘭に住みたい」思いにこたえる									
	子育て世代にやさしい定住環境整備									
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他 ( )				
事業概要	不妊治療は医療保険が適応されない治療も多く、1回の治療費が高額になること、市内には体外受精や顕微授精（特定不妊治療）を実施する医療機関がなく高額な医療費に加え交通費もかかり経済的な負担が大きい状況にあるため、特定不妊治療と平成28年度からは男性不妊治療の治療費の一部を助成し、安心して子供を産むことができる街づくりを促進する。									
決算	予算	2,350	千円	財源内訳	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	2,113	千円		千円	千円	千円	2,113 千円		
実施内容	対象者：北海道特定不妊治療費助成事業の交付を受けた人。 内容：不妊治療のうち体外受精・顕微授精に係る治療費に対し1回5万円を上限に交付。またその治療過程で精巣内精子生検採取法等（男性不妊治療）を行った場合は5万円を上限に上乗せで助成金を交付する。									
KPI	総合戦略における重要業績指標（KPI）				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	特定不妊治療助成件数（ /2）				200件 [平成27～31年度]			75件 [平成27～28年度]		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標（KPI）				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	-				-	-	-			
事業効果	不妊治療を受けることの経済的・精神的負担の軽減 平成27年度 助成32件、母子健康手帳発行数7件、出生数4件 平成28年度 助成43件（うち男性不妊治療2件）、母子健康手帳発行数10件、出生数4件									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					事業の周知が進み助成件数は増加している。 （H27年度32件 H28年度43件）					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し（改善）を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					8件の出生につながっており、助成件数も増加していることから継続					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。					

事業名		子育て世代持家住宅促進助成		所管課		都市政策課		No		2-04		
施策区分												
2 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]				
数値目標	子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合			35% [平成31年度]				アンケート未実施				
分類	「子育てにやさしいまち」を推進する											
	「子育て応援プラン」の推進											
	子育て世代の「室蘭に住みたい」思いにこたえる											
	子育て世代にやさしい定住環境整備											
事業内容												
区分	新規		継続		見直し		事業主体		室蘭市		その他 ( )	
事業概要	<p>市内で住宅を新築または購入した子育て世帯に対し助成金を交付</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>対象者：H26.1.2～H29.1.1までに対象住宅を自ら所有し居住する所要の条件を満たす子育て世帯&lt;拡充&gt; 対象期間の拡大「～H28.1.1」「～H29.1.1」</li> <li>助成内容：家屋等に係る固定資産税等の1/2相当額</li> <li>助成期間：固定資産税等を初めて賦課された年度から3年間</li> </ul>											
決算	予算 15,960 千円		決算 12,244 千円		財源内訳		[国・道]		[地方債]		[その他]	
											[一般財源] 12,244 千円	
実施内容	<p>H28年度中に申請のあった305件に対して助成金を交付した。</p> <p>&lt;内訳&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H26.1.2～H27.1.1住宅取得者の2年目助成：144件</li> <li>・H27.1.2～H28.1.1住宅取得者の1年目助成：161件</li> </ul>											
KPI	総合戦略における重要業績指標 (KPI)				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]			
	子育て世代持家促進助成件数				900件 [平成27～31年度]				305件 [平成27～28年度]			
	-				-				-			
	実施計画における重要業績指標 (KPI)				平成28年度目標値		平成31年度目標値		平成28年度実績			
	-				-		-		-			
事業効果	<p>H26住宅取得者に比べH27住宅取得者への助成件数が増加しているが、制度利用者へのアンケートの結果、助成自体は好評であるものの助成制度をきっかけに市内に住宅取得した世帯はごく少数であり、定住促進という観点での費用対効果は薄い。</p>											
評価												
[事業の評価]						[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった						アンケートの結果、助成金の交付を受けられることに関しては好評であるが、助成制度をきっかけとして住宅を取得した世帯は少数であった。						
[今後の方針]						[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する						アンケートによる分析の結果、当助成制度をきっかけに市内に住宅を取得した世帯は少数であったため、H29年以降に住宅を取得する新規対象者への助成は実施しないこととし、H29年度からは、市外からの転入者向けに新たなマイホーム購入助成金制度を開始した。 対象期間中(H26.1.2～H29.1.1)に住宅を取得した子育て世帯への助成は引き続き実施する。						
[総合戦略見直しの必要性]						[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない						総合戦略の方向性としては変更ないが、当該事業の実績をKPIとしているため、事業内容の変更に伴い、総合戦略見直しの必要がある。						

<b>事業名</b> 子育て・若年者世代向け賃貸共同住宅整備支援モデル事業		<b>所管課</b> 都市政策課		No 2-05			
<b>施策区分</b>							
<b>2 子育て世代が希望を持って住み続けられるまちづくり</b>		<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>			
数値目標	子育て支援の取組みに満足している20代～30代の市民の割合	35% [平成31年度]		アンケート未実施			
分類	「子育てにやさしいまち」を推進する						
	「子育て応援プラン」の推進						
	子育て世代の「室蘭に住みたい」思いにこたえる						
	子育て世代にやさしい定住環境整備						
<b>事業内容</b>							
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他( )	
事業概要	子育て・若年世代に配慮した賃貸共同住宅を整備・供給する事業者への助成制度を創設し、賃貸住宅の家賃の低減や供給の促進を図る ・補助要件：家賃5万円以下、遮音性・転落防止対策等への配慮、子育て・若年世帯に入居者を限定など ・募集数：8戸（公募選考を実施予定） ・補助率：1戸あたり工事費の1/3以内（上限3,000千円）						
決算	予算 24,000 千円	決算 24,000 千円	財源内訳	[国・道] 千円	[地方債] 千円	[その他] 千円	[一般財源] 24,000 千円
実施内容	H28年度に公募選考した1社に対して、2棟8戸分の補助金を交付した。 ・選考事業者により、2LDK・家賃5万円/月のアパート2棟8戸を武揚の杜で整備（H29年2月完成）						
KPI	<b>総合戦略における重要業績指標（KPI）</b>		<b>目標 [対象年度]</b>		<b>実績 [対象年度]</b>		
	民間と連携した子育て世代向け共同住宅の整備棟数		8棟 [平成27～31年度]		2棟 [平成27～28年度]		
	-		-		-		
	<b>実施計画における重要業績指標（KPI）</b>		平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績		
	-		-	-	-		
事業効果	民間の不動産業者により、子育て世帯向けの賃貸共同住宅が2棟8戸整備され、すぐに入居者が決まり満室となった。						
<b>評価</b>							
[事業の評価] 総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった			[事業の評価に対する意見・理由] 子育て世帯に配慮した低家賃の賃貸住宅の供給に寄与した。				
[今後の方針] 事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し（改善）を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する			[今後の方針に対する理由] H30策定予定の立地適正化計画において、居住誘導区域等の設定を予定しており、立地適正化計画との整合を図りながら効果的な事業手法等を検討する必要があるため、休止する。				
[総合戦略見直しの必要性] 見直しが必要 見直す必要はない			[総合戦略の見直しの必要性に対する理由] 事業は休止するが、総合戦略における目的・方向性を見直しを伴うものではないため。				

事業名		フェリー航路就航促進事業（交流）		所管課	総務課		No	3-01		
施策区分										
3 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	市内観光入込客数			1,400,000人 [平成31年度]			1,286,720人 [平成28年度]			
目標	新規に室蘭港を活用した取引を開始した事業者等の件数			5件 [平成27～31年度]			7件 [平成27～28年度]			
分類	「港・工場・自然」を活かし交流人口を拡大する									
	国内外の客船等誘致等による交流促進			観光客受け入れ態勢の整備や観光拠点の整備検討						
	「港」を活かし国内外の物流機能を高める									
	国内外への積極的なポートセールス									
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他（ ）				
事業概要	平成30年6月に就航する宮古フェリー航路の着実な就航と安定的・持続的な運航に向けて、市・圏域同士の交流促進をすすめる。									
決算	予算	225	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	95	千円	内訳	95	千円	千円	千円	千円	
実施内容	平成28年度まちづくり協議会のテーマとして「宮古市との交流促進検討ワークショップ」を40名参加により3回開催。 1. 情報発信 2. 市民の機運を高める 3. 交流の芽をつくり育てる の3本柱で市民意見をまとめた。									
KPI	総合戦略における重要業績指標（KPI）				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	宮古航路を活用した地域間交流事業の実施（ /2）				実施			異業種交流会等実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標（KPI）				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	フェリー航路の就航（ /4）				-	1日1往復	-			
事業効果	-									
	・第1回市民ワークショップに宮古市職員らを招き、宮古市の概要についてワークショップ参加者が理解を深め関心を高めた。 ・ワークショップでまとめた意見を市長が宮古市長に報告し、宮古市での室蘭への関心度を高めた。 ・宮古市との交流実行委員会（室蘭市・室蘭商工会議所・室蘭観光協会）で商業者を派遣し、商店街交流の気運が高まった。									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					市民ワークショップ開催により、宮古市の関心度とフェリー就航への気運が高まった。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し（改善）を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					市民ワークショップの意見を事業化し、3本柱の実現に努めるとともに、当該事業への支援を目的とした企業版ふるさと納税の活用を図る。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					フェリー就航に向け事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。					

事業名		フェリー航路就航促進事業（観光・産業）		所管課	観光課		No	3-01		
施策区分										
3 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	市内観光入込客数			1,400,000人 [平成31年度]			1,286,720人 [平成28年度]			
目標	新規に室蘭港を活用した取引を開始した事業者等の件数			5件 [平成27～31年度]			7件 [平成27～28年度]			
分類	「港・工場・自然」を活かし交流人口を拡大する									
	国内外の客船等誘致等による交流促進			観光客受け入れ態勢の整備や観光拠点の整備検討						
	「港」を活かし国内外の物流機能を高める									
	国内外への積極的なポートセールス									
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他（宮古市との交流実行委員会）				
事業概要	平成30年6月に就航する宮古フェリー航路の着実な就航と安定的・持続的な運航に向けて、観光及び産業の側面から、交流人口拡大による経済活性化を目的とした取組みを実施									
決算	予算	800	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	706	千円	内訳	381	千円	千円	325	千円	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮古市産業まつり（H28年9月）に室蘭の観光物産ブースを出展（PRを兼ね地元物産品や道産野菜を販売。室蘭地域のものづくり企業と室蘭工業大学の知の取組みを産学官連携でPR）</li> <li>室蘭市及び宮古市での異業種交流会開催</li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標（KPI）				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	宮古航路を活用した地域間交流事業の実施（ /2 ）				実施			異業種交流会等実施		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標（KPI）				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	商談会参加など販路拡大に新規に取り組む企業等件数（ /3				2件	10件	0件			
フェリー航路の就航（ /4 ）				-	1日1往復	-				
事業効果	フェリー航路でつながる両市の観光資源や特産品等を互いのイベントでPRする事により、市民レベルで互いに両市を知る機会を創出し、とりわけ本事業においては、本市は基より北海道観光への気運醸成につながった。									
評価										
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]					
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					市民向けに、観光面の切り口から交流を開始し、室蘭の地元特産品や観光資源をPRする事ができ、また、産業面でも新規に取り組む企業の創出には至らなかったが、今回の交流を契機に今後の連携に向けた機運醸成が図られた。					
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]					
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し（改善）を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					観光交流以外にもスポーツ、文化をはじめ様々な交流を探りながら、市民レベルでの交流を活性化させ、産業面では観光・宿泊・サービス業等の交流をメインとし、フェリー就航へ向け気運醸成を図る。					
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]					
見直しが必要 見直す必要はない					フェリー就航に向け事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。					

事業名		フェリー航路就航促進事業（物流）		所管課	港湾政策課		No	3-01		
施策区分										
3 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	市内観光入込客数			1,400,000人 [平成31年度]			1,286,720人 [平成28年度]			
目標	新規に室蘭港を活用した取引を開始した事業者等の件数			5件 [平成27～31年度]			7件 [平成27～28年度]			
分類	「港・工場・自然」を活かし交流人口を拡大する									
	国内外の客船等誘致等による交流促進			観光客受け入れ態勢の整備や観光拠点の整備検討						
	「港」を活かし国内外の物流機能を高める									
	国内外への積極的なポートセールス									
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他（ ）				
事業概要	平成30年6月に就航する宮古フェリー航路の着実な就航と安定的・持続的な運航に向けて、岩手県庁や宮古市と連携しながら、後志管内を中心とした荷主等を訪問し、集荷の確保に努める。									
決算	予算	830	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	556	千円	内訳	260	千円	千円	296	千円	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室蘭～宮古フェリー航路のPRグッズ（割りばしセット）を北海道トラック協会総会にて配布（5月）</li> <li>・岩手県北上市にて企業訪問及び宮古市主催のセミナーでPR（8月）</li> <li>・東北岩手県庁、宮古市等及び後志管内自治体等訪問（8月）</li> <li>・室蘭市長と宮古市長と一緒に川崎近海汽船㈱を訪問（10月）</li> </ul>									
KPI	総合戦略における重要業績指標（KPI）				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	室蘭港の貨物取扱量（ /3）				2,530万トン [平成31年度]			1994万トン [平成28年度]		
	-				-			-		
	実施計画における重要業績指標（KPI）				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	商談会参加など販路拡大に新規に取り組む企業等件数（ /3）				2件	10件	0件			
	荷主等への訪問件数				5件	-	7件			
事業効果	フェリー航路の就航（ /4）				-	1日1往復		-		
	フェリー航路の安定した荷物の確保に向け、後志管内の荷主へのフェリー航路のPRのため、同管内の自治体と関係構築を図ることで荷主との商談がスムーズに運ぶと期待される。									
評価										
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				フェリー航路のグッズを活用しながらの企業訪問により、今後も効果的な集荷依頼が期待できる。						
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し（改善）を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				安定的な集荷には、継続した訪問活動が必要であるため、今後も荷主等への企業訪問を継続していく。						
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直し必要はない				フェリー就航に向け確実に事業進捗しており、現時点で総合戦略の見直しの必要はない。						



事業名		海外ポートセールス実施事業		所管課		港湾政策課		No		3-02		
施策区分												
3 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]				
数値目標	市内観光入込客数			1,400,000人 [平成31年度]				1,286,720人 [平成28年度]				
数値目標	新規に室蘭港を活用した取引を開始した事業者等の件数			5件 [平成27～31年度]				7件 [平成27～28年度]				
分類	「港・工場・自然」を活かし交流人口を拡大する											
分類	国内外の客船等誘致等による交流促進			観光客受け入れ態勢の整備や観光拠点の整備検討								
分類	「港」を活かし国内外の物流機能を高める											
分類	国内外への積極的なポートセールス											
事業内容												
区分	新規		継続		見直し		事業主体		室蘭市		その他 ( )	
事業概要	<p>【客船】海外船社のキーパーソンに直接ポートセールスを行うことで、室蘭港への客船誘致及び後背地への観光振興を推進するもの。</p> <p>【12ft】12ftコンテナを利用して後背地域である胆振や後志等の農水産品や加工品の荷物を小口から運べるように取り組む。</p> <p>小口での輸送手段に最適な12ftコンテナに関しては、国際規格ではないため認知度が低い。また、この取り組みには新たな輸出入品の開拓も不可欠であるため、12ftコンテナの認知度を高め、現地に於て新たな小口輸送の発掘を行い、室蘭港でのコンテナ貨物取扱いの増加、多様化を目指す。</p>											
決算	予算		3,212 千円		財源		[国・道]		[地方債]		[その他]	
決算	決算		3,105 千円		内訳		千円		千円		千円	
実施内容	<p>【客船】H28年10月アメリカ合衆国にある船社を訪問し、市長によるトップセールスを実施し、天然の良港である室蘭港の安全性と登別温泉や洞爺湖等の後背地域を含めた観光地のPRを行った。</p> <p>【12ft】H27年度にタイ王国バンコクにて開催した室蘭港ポートセミナーや12ftコンテナ見学会により繋がりのできた企業を中心に、H28年8月現地において12ftコンテナによる小口輸送をPRするとともに、タイから北海道への輸入する貨物の開拓を行った。</p>											
KPI	総合戦略における重要業績指標 (KPI)				目標 [対象年度]				実績 [対象年度]			
KPI	客船の寄港回数				30回 [平成27～31年度]				13回 [平成27～28年度]			
KPI	室蘭港の貨物取扱量 ( /3)				2,530万トン [平成31年度]				1994万トン [平成28年度]			
KPI	実施計画における重要業績指標 (KPI)				平成28年度目標値		平成31年度目標値		平成28年度実績			
KPI	-				-		-		-			
KPI	-				-		-		-			
事業効果	<p>【客船】海外船社のキーパーソンに直接ポートセールスすることで、室蘭港及び登別温泉や洞爺湖等の後背地域を含めた観光地のPRし、特に興味を示す船社があるなど、今後の寄港への期待感が高まっている。</p> <p>・海外客船寄港実績 H27：4回 H28：5回、H29：3回予定</p> <p>【12ft】12ftコンテナの海上輸送には多くの課題もあるが、小口の海上輸送に興味を示す企業が多くあり、これら課題の解決によって小口輸送の事業化に向けて進んでいくものと思われる。</p>											
評価												
[事業の評価]						[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった						【客船】海外船社とのコネクションが形成され、より直接的なポートセールスが可能となったが、客船の寄港増に繋げるには今後も継続した取組が必要となる。						
総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった						【12ft】12ftコンテナによる小口輸送のニーズがあるため、今後の様々な課題の解決によっては貨物の増に繋がることも期待できる。						
[今後の方針]						[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる						【客船】28年度までは市長によるトップセールスだったが、今後は担当者レベルでのセールスに切り替え、その情勢、相手等により市長訪問を検討する。						
事業内容の見直し(改善)を行う						【12ft】今後も小口輸送に関連する企業に向け、継続した企業訪問を実施する。						
特に見直しをせず、事業を継続する												
継続的な事業実施を予定していたが中止する												
当初予定どおり事業を終了する												
[総合戦略見直しの必要性]						[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要						事業内容は見直しを行うが、総合戦略の見直しを伴うものではないため。						
見直す必要はない												

事業名		観光拠点づくり事業		所管課	観光課		No	3-03		
施策区分										
3 港や観光資源を活かし、新たな「ひと」と「もの」の流れをつくる				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]			
数値	市内観光入込客数			1,400,000人 [平成31年度]			1,286,720人 [平成28年度]			
目標	新規に室蘭港を活用した取引を開始した事業者等の件数			5件 [平成27～31年度]			7件 [平成27～28年度]			
分類	「港・工場・自然」を活かし交流人口を拡大する									
	国内外の客船等誘致等による交流促進			観光客受け入れ態勢の整備や観光拠点の整備検討						
	「港」を活かし国内外の物流機能を高める									
	国内外への積極的なポートセールス									
事業内容										
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他 ( )				
事業概要	H28年3月に北海道新幹線が開業し、H30年6月には室蘭・宮古フェリーが就航する。更に外国人旅行者の急増など、これら観光を取り巻く状況の変化を契機と捉え、点在する観光資源をつなぐ観光拠点を整備し魅力アップを図る。									
決算	予算	3233	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]		
	決算	3128	千円	内訳	千円	千円	千円	3128	千円	
実施内容	先進地視察 観光客実態調査 ・道の駅「みたら室蘭」及び地球岬での定点入込調査及び来訪者アンケート調査 ・ホテル宿泊者アンケート調査 ・WEBアンケート調査 ・室蘭市関連キーワード解析調査									
KPI	総合戦略における重要業績指標 (KPI)				目標 [対象年度]			実績 [対象年度]		
	夜景観光バス参加者数				2,000人 [平成31年度]			1,997人 [平成28年度]		
	主要観光地 (地球岬・道の駅等) を訪れる人の数				900,000人 [平成31年度]			950,376人 [平成28年度]		
	実施計画における重要業績指標 (KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績			
	-				-	-	-			
事業効果	実態調査で現状の課題や求められている機能などを把握した事により、それらを考慮しながら今後具体的な方針を定める。									
評価										
[事業の評価]				[事業の評価に対する意見・理由]						
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった				現状の把握を目的とした調査段階であるため、今年度の事業から直接的にはKPIに定めた観光客の増加につながってはいないが、今後、調査結果を基に事業を推進する事でKPI達成につながるものと考えます。						
[今後の方針]				[今後の方針に対する理由]						
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し (改善) を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する				今後、調査結果を基に、観光拠点として必要な機能を検討し、具現化へ向けた取り組みを進める。						
[総合戦略見直しの必要性]				[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]						
見直しが必要 見直す必要はない				事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。						

事業名		西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進事業			所管課	企画課		No	4-01
施策区分									
プラス1 広域連携等による魅力ある地域づくり					目標 [対象年度]		実績 [対象年度]		
数値目標	西胆振圏域3市3町の総人口				184,000人 [平成31年度]		187,741人 [平成28年度]		
分類	西胆振の連携を深め圏域の魅力を高める								
	西いぶり定住自立圏をはじめとした広域連携の推進				西胆振の連携による「生涯活躍のまち」構想の推進				
	室蘭工業大学等と連携し、人材の育成・定着などを推進する								
	室蘭工業大学や専門学校等と連携した各種取組を展開								
事業内容									
区分	新規	継続	見直し	事業主体	室蘭市	その他 (西いぶり「生涯活躍のまち」構想推進協議会)			
事業概要	西胆振圏域全体で「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想を推進するため、官民が連携する構想推進協議会を設置し、構想の策定等を進める ・「生涯活躍のまち(日本版CCRC)」構想：元気な高齢者等の移住促進を図り、人口定住のほか医療福祉の雇用確保、まちなか再生など、幅広い分野での取組効果により地域活性化につなげる 全体事業費～11,000千円								
決算	予算	4,956	千円	財源	[国・道]	[地方債]	[その他]	[一般財源]	
	決算	4,956	千円	内訳	4,588	千円	千円	368	千円
実施内容	・H28.5月に「西いぶり『生涯活躍のまち』構想推進協議会」を設立 ・H29.3月に「医療・介護集積の確保」「空家等を利用した住居の確保」「コミュニティ・クラブ活動の環境整備」「就労の場の提供」「公共交通の利便性向上」「広域コンシェルジュサービス(移住前の総合窓口)」の7つを取組の柱立てとした「西いぶり『生涯活躍のまち』構想」を策定し、平成29年度においては、「コミュニティクラブ活動の環境整備」と「広域コンシェルジュサービス」について、伊達市に専属人材を配置する中で、試行的に市民活動団体の掘り起こしや西いぶり圏域全体の移住相談窓口としての対応を行い、他の分野の取組についても協議を進める中で具体的な事業等を検討し、推進していくこととした。								
KPI	総合戦略における重要業績指標(KPI)				目標 [対象年度]		実績 [対象年度]		
	新規広域連携事業等の件数 ( /5)				4件 [平成27～31年度]		1件 [平成27～28年度]		
	西胆振版「生涯活躍のまち」構想の策定及び推進				策定		構想策定		
	実施計画における重要業績指標(KPI)				平成28年度目標値	平成31年度目標値	平成28年度実績		
	移住相談件数				-	300件(圏域全体)	-		
事業効果	・平成28年度中に西いぶり「生涯活躍のまち」構想の策定し、本圏域が目指す方向性を決めることができた。 ・本構想を推進することで、今後の圏域内における定住人口やシーズンステイの増加を期待する。								
評価									
[事業の評価]					[事業の評価に対する意見・理由]				
総合戦略のKPI達成に有効であった 総合戦略のKPI達成に有効とは言えなかった					予定どおり、西胆振版「生涯活躍のまち」構想を策定することができた。				
[今後の方針]					[今後の方針に対する理由]				
事業が効果的なため、更に発展させる 事業内容の見直し(改善)を行う 特に見直しをせず、事業を継続する 継続的な事業実施を予定していたが中止する 当初予定どおり事業を終了する					策定した構想に基づき、圏域全体として移住定住促進に向けた取り組みを推進していく。				
[総合戦略見直しの必要性]					[総合戦略の見直しの必要性に対する理由]				
見直しが必要 見直す必要はない					事業内容の充実を図るが、総合戦略の見直しに伴う内容ではないため。				